

更生保護法人 広島県更生保護協会

会 報

『家 族』



(少年の部)

『雨のいちばんはじっこ』



(成人の部)

第52回広島矯正管区管内矯正施設被收容者
文芸作品コンクール絵画部門 金賞受賞作品

更生保護法人広島県更生保護協会におかれましては、平素から、広島県内の大規模かつ活発な更生保護活動を財政面でしっかりと支えていただき、また、経済界や篤志の方々、地域の方々の理解と賛同を得る活動にもご尽力をいただいておりますこと、心より敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

私はこの春の人事異動で、名古屋保護観察所から着任しました。初任が昭和六十二年の広島保護観察所で、三年間勤務しました。以来、三十四年ぶりに広島県の街に戻ってこられたことを、しみじみと幸せに感じています。

さて、本年、更生保護制度は施行七十五周年を迎えます。長く地域の安全・安心を支え続ける中で、近年では再犯防止の観点から、犯罪者の立ち直りに向けた「息の長い支援」、地方公共団体との連携拡充に力を入れております。昨年の全国的なコロナ明けに伴う社会経済活動の活性化、そしてG7広島サミット開催の効果も受け、広島県内の更生保護の諸活動につ

更生保護制度施行 75周年を迎えて



中国地方更生保護委員会

委員長 横 地 環

きまして、地域活動の復活・積極化が顕著で、この先の道のりは明るく見えていました。

そんな中で今般、滋賀県で保護観察対象者が保護司殺害の容疑で逮捕されるという痛ましい事件があり、更生保護の大切な担い手である保護司の安全確保という、大きく切実な問題が提起されたところであります。報道されておりますように、国レベルでも様々な対策が講じられていますが、中国地方でも、当委員会・広島保護観察所等の更生保護官署が知恵を絞り総力を挙げて取り組むとともに、関係機関・団体、そして篤志の方々からも幅広くご理解ご協力を得て、更生保護活動全体への不信任、犯罪者差別の拡大といった、更なる逆風が生じることなどをなんとかして防ぎたいと考えております。

一転して先が見えない、険しい道のりが予想されるのですが、広島県更生保護協会の皆様、ご支援を頂いている皆様、より良い形で更生保護を未来に継承していくため、今後とも変わらぬお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

偏見を防いで正しい御理解を



広島保護観察所 所長

古賀 正明

熊本保護観察所長から、この春、三十年ぶりに広島保護観察所に戻って参りました古賀と申します。三十年前は若輩者でしたので、自分を育てていただいた広島県の更生保護関係者の皆様に、今回は御恩返しができればと日々考えているところです。

広島県更生保護協会におかれましては、理事長のお人柄とフットワークの素晴らしさを始め、三十年前には想像できなかったほどの安定経営と物心両面の御支援、役職員の皆様の御尽力に対し、心から御礼を申し上げます。

ところで、非常に残念かつ深刻な未曾有の出来事として、滋賀県の保護司が殺害される事件が起きました。事件は捜査中ですが、更生保護官署としては、この事件を真摯に受け止めて、職員が一丸となって保護司の方々の安全を守り、安心して関係者が更生保護の活動に取り組めるよう尽力してまいります。

亡くなられた新庄保護司は、保護

司として熱心に活動してくださったとともに、協会の事務局長として地域社会での立ち直りを支えるためのネットワーク作りに取り組んでくださり、保護司候補者確保にも御尽力くださった方でした。新庄保護司の高いお志を汲んで、「私たち関係者が更生保護の歩みを後退させることなく、ネットワーク作りを全国各地で推進していくこと」、「保護司や更生保護に対する広島県民の正しい理解を得て、県内で立ち直ろうとする人たちへの偏見が生じないようにすること」が今の私たちにできることなのだと考えております。

結びに、広島県内で更生保護の担い手が二の足を踏むことがないよう、「立ち直りを温かく見守る広島の良い郷土文化」がこれからも高まるよう、読者の皆様に対し、「今だからこそ必要な御理解・御協力」をお願いして、着任あいさつとさせていただきます。

感謝状伝達・贈呈式並びに助成金交付式

令和五年七月二十八日(金)、ひろしま国際ホテルに於いて、当協会をご支援くださる篤志家・協力者の皆様をお招きし、感謝状の伝達・贈呈式並びに助成金交付式を開催しました。

松藤理事長の挨拶に続き、広島保護観察所小林淳雄所長様の来賓挨拶の後、各感謝状の伝達・贈呈を行い、続いて松藤理事長より十二団体へ助成金の交付を行いました。その後小林所長様より「更生保護の動向二〇二二」と題し、県内における更生保護の概況や更生する人に対する「息の長い支援」の実現に向けた課題などについて講話をいただきました。最後は懇談会を催し、日頃の活動状況などについて互いに情報・意見交換ができ、有意義な懇談の場となりました。



小林所長講話



松藤理事長



助成金交付式



理事長感謝状贈呈



委員長感謝状伝達



理事長感謝状贈呈



大臣感謝状伝達

篤志寄附者

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(敬称略・順不同・単位 円)

広島電鉄株	200,000	広島市信用組合	100,000	(一社)広島県銀行協会	10,000
株もみじ銀行	80,000	明和運送株	100,000	平石廣司	30,000
株ザイエンス	50,000	NPO法人環境保全創生委員会	80,000	頼岡徳在	30,000
マツダ株	100,000	株シンコー	100,000	株にしき堂	30,000
株中電工	100,000	広島市地区更生保護女性会 連絡協議会	80,000	井町重遠	30,000
株フジタ	50,000	高橋雅彦	30,000	株大柿産業	100,000
株中国新聞社	100,000	ホライズン株	300,000	東洋観光株	80,000
株広島銀行	100,000	安芸教区仏教婦人会連盟	300,000	ウエノヤビル株	30,000
広島ガス株	100,000	(有)安芸興産	30,000	株スパーク	30,000
中元良子	10,000	小林淳雄	25,000	双葉運輸株	100,000
黒田正則	20,000	(社福)広島県共同募金会	600,000	オタフクホールディングス株	80,000
竹井秀行	10,000	藤井由紀枝	200,000	広島駅弁当株	80,000
中曾義孝	20,000	坂本勝成	200,000	税理士法人赤羽事務所	80,000
中曾マリコ	20,000	中谷厚子	100,000	株砂原組	30,000
バイオシステム株 広島みずほカントリークラブ	20,000	三上貴久美	100,000	小谷眞喜子	30,000
株後藤組	10,000	赤澤満税理士事務所	30,000	株ヒューマックス	30,000
株山村興業	10,000	株山貴	80,000	福山地区更生保護協会	80,000
株三輝	10,000	(有)ネクストライ	30,000	株和泉材木店	30,000
(有)アンティーク	10,000	株むさし	30,000	株フレンド商会	80,000
田中くるみ	100,000	林正夫	100,000	田中食品株	30,000
(一財)多山報恩会	500,000	中尾建三	100,000	株あじかん	50,000
木村正文	30,000	金本公認会計士事務所	40,000	大栄電業株	30,000
広島信用金庫	130,000	住吉神社 森脇宗彦	30,000	田中電機工業株	80,000
(一社)呉交通安全センター	100,000	アクト中食株	30,000	(有)森本製作所	80,000
広島県遊技業協同組合	200,000	株はなおか	30,000	匿名希望3先	1,203,000
曾川恵二	10,000	株ダイキ	30,000		
株共和保険サービス	200,000	上野充憲	30,000		

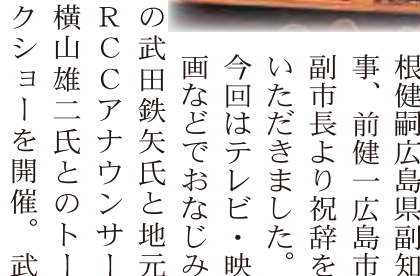


更生保護 チャリティーの集い 武田鉄矢 & 横山雄二トークショー



やらぬうちにトーク
ショーは終演となり
ました。最後は林副
理事長より皆さまに
お礼の挨拶を述べ、
盛会のうちに開き
となりました。

田氏の多岐にわたる芸能活動のエピソードに
加え、子育てや教育の話題では、社会で子ど
もたちを見守ることや相手を思いやることは
私たちの身近にあり、そのひとつがまさに
「更生保護活動」ではないかとの語り掛けに
対して、会場からは拍手が沸き起こる場面もあ
りました。トークショーのエピソードには、
なんと「贈る言葉」のサプライズ。興奮冷め



令和五年十一月十四日(火)、広島県民文化
センターホールに於いて、第二十六回「更
生保護チャリティーの集い」を開催しまし
た。開場から約三〇分間、保護司や関係団
体の活動を紹介する映像を上映。松藤理事
長の開会挨拶に続き、ご来賓を代表して山
根健嗣広島県副知
事、前健一広島市
副市長より祝辞を
いただきました。
今回はテレビ・映
画などでおなじみ
の武田鉄矢氏と地元
RCCアナウンサー
横山雄二氏とのト
ークショーを開催。武



エディオンスタジアム広島における“社明広報活動” ～サンフレッチェサポーターの皆さんに ホゴちゃん・サラちゃんTシャツで呼びかけ～



令和五年七月十六日(日)、サンフレ
チェ広島VS横浜FC戦において、広
島ガス(株)様のご厚意により、“社会を
明るくする運動” 啓発活動を実施しま
した。広島保護観察所職員と広島県
BBS連盟
会員と更生
ペンギン
「ホゴちゃ
ん」ととも
に、続々と
会場入りす
るサポータ
ーの皆さん
へ「社明う
ちわ」を配
布。活動へ
の理解と協
力を呼びか
けました。



サイネージ県庁前

第73回 “社会を明るくする運動” 社明街頭広報 ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

令和五年七月一日
七月三十一日の一ヶ月
間、広島市内十二ヶ所
のデジタルサイネージ
において街頭広報を実
施しました。“社会を
明るくする運動”は犯
罪や非行の防止と犯罪
や非行をした人たちの
更生について理解を深
め、寄り添い支えあつ
て安全で安心な明るい
地域社会を築くための
取り組みです。立ち直
りを支える地域・家庭
づくりを進めるために
何ができるのかともに
考えてみませんか。



サイネージ酒南山田前

バレーボール教室 IN 貴船原少女苑

JTサンダーズ広島選手2名と訪問 令和5年6月19日



寄贈品肘サポーター

ます。選手の自己紹介に続き、迫力あるデモンストレーションの披露に生徒たちの視線は釘付けとなりました。その後攻撃と守備の練習をし、最後に両選手と生徒全員で試合を行いました。苑では近々バレーボール大会が予定されているそうで大会に向けた総仕上げとなりました。最後に選手からJTサンダーズ広島選手全員のサイン入りボールと色紙が贈られ、協会からは肘サポーターを寄贈。生徒の皆さんからは心のこもった手芸の品を訪問者全員にいただきました。しっかりと目標を持ち、前向きな気持ちで社会復帰することを期待します。



令和五年六月十九日(月)、JTサンダーズ広島金子聖輝選手・坂下純也選手と貴船原少女苑を訪れ、バレーボール教室を開催しました。今回で三回目の訪問となり

講演会 IN 広島少年院

ライフル射撃選手 中重勝氏と訪問 令和6年3月6日



目録贈呈

今日の講演を聴いて学んだことを、更生・社会復帰するための一助にしてほしいとの思いで少年院を後にしました。



寄贈品

目録を持ち最後までやり抜くことや一生懸命努力することの大切さについて、熱く語ってくださいました。生徒の皆さんは背筋を伸ばして真つすぐ前を向き、真剣な表情で話を聴いていました。講演後、協会より生徒の皆さんに記念品を贈呈。生徒の皆さんにとって、

当日は「競技から得た感謝する心」と題して、人生を振り返ってみると、様々な人との出会いやできごとにおいて「感謝」することがとても多かったこと、目標を持ち最後までやり抜くことや一生懸命努力することの大切さについて、熱く語ってくださいました。生徒の皆さんは背筋を伸ばして真つすぐ前を向き、真剣な表情で話を聴いていました。講演後、協会より生徒の皆さんに記念品を贈呈。生徒の皆さんにとって、



中重氏

令和六年三月六日(水)、広島県警察本部 中重勝氏と広島少年院を訪れ、講演会を開催しました。中重氏は三次市出身のライフル射撃選手として三度のオリンピック出場、三十六回連続国体出場(十三度優勝)、広島アジア大会金メダル、エアピストル六〇発の日本記録保持者として輝かしい経歴をお持ちです。本年三月末でご定年され、現在は日本パラ射撃連盟のナショナルコーチとしてご活躍中です。

「このまち思い えがお食堂」は4周年を迎えました♪

令和二年七月にオープンした「このまち思い えがお食堂」は、季節の食材を使った美味しい料理とみんなの「えがお」が集うことも食堂です。毎月一回、広島ガスガストピアセンターで開催しています。「えがお企画」の運営や食材提供には、多くのボランティアやえが

令和二年七月

にオープンした

「このまち思い

えがお食堂」は、

季節の食材を使っ

た美味しい料理

とみんなの「え

がお」が集うこ

ども食堂です。

毎月一回、広島

ガスガストピア

センターで開催

しています。「え

がお企画」の運

営や食材提供に

は、多くのボラ

ンティアやえが

調理風景



えがおごはん



絵本の読み聞かせ



音楽演奏会byえがおボランティアスタッフ



令和5年度決算および令和6年度予算

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	項 目	令和5年度決算	令和6年度予算
任意被保護者負担金収入	26,000	0	寄 附 金 収 入	9,013,000	9,030,000
その他の負担金収入	26,000	0	福山地区更生保護協会	600,000	600,000
補 助 金 収 入	1,244,000	1,310,000	篤 志 者 寄 附 金	240,000	130,000
日本更生保護協会	1,134,000		共同募金会配分金	600,000	600,000
広島県	110,000		役 員 等 寄 附 金	7,573,000	7,700,000
財 産 収 入	3,773	10,000	理事・監事・評議員	2,000,000	
預 金 利 息	3,773		一 般	4,168,000	
会 費 収 入	5,642,500	6,150,000	チャリティーコンサート	1,405,000	
地区保護司会	1,383,500	特別会員 3先	雑 収 入	14,000	0
地区更生保護女性会	265,000	賛助会員 378先	収 入 の 部 合 計	15,943,273	16,500,000
一 般	3,994,000	普通会員 188先			

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	令和5年度決算	令和6年度予算	項 目	令和5年度決算	令和6年度予算
通所・訪問型保護事業費	1,063,630	1,300,000	顕 彰 式	180,000	0
事 務 費	100,000	100,000	報 償 費	268,599	500,000
給 料 手 当	100,000	100,000	調 査 研 究 費	0	0
金 品 給 与 費	963,630	1,200,000	そ の 他	380,000	380,000
金 品 給 与 費	963,630	1,200,000	助 成 費	4,528,733	3,950,000
地域連携・助成事業費	12,399,042	12,437,000	宿泊型保護事業	1,500,000	1,500,000
事 務 費	3,557,569	3,660,000	通所・訪問型保護事業	200,000	100,000
給 料 手 当	1,800,000	1,800,000	地域連携・助成事業	0	0
雑 給 与	900,000	960,000	保 護 司 活 動	1,196,233	1,130,000
福 利 厚 生 費	359,004	370,000	更生保護女性会活動	132,500	120,000
旅 費 交 通 費	167,100	175,000	B B S 活 動	200,000	200,000
通 信 運 搬 費	211,030	220,000	そ の 他 助 成 費	1,300,000	900,000
消 耗 品 費	21,413	20,000	管 理 費	2,547,899	2,663,000
印 刷 製 本 費	95,422	110,000	給 料 手 当	100,000	100,000
雑 費	3,600	5,000	退 職 給 付 支 出	0	0
啓 発 費	2,393,089	2,617,000	会 議 費	193,271	190,000
啓 発 費	2,393,089	2,617,000	交 際 費	40,040	50,000
連 絡 調 整 費	1,919,651	2,210,000	旅 費 交 通 費	86,850	160,000
宿泊型保護事業	0	5,000	通 信 運 搬 費	54,939	60,000
通所・訪問型保護事業	0	5,000	消 耗 品 費	16,920	13,000
地域連携・助成事業	19,000	30,000	印 刷 製 本 費	64,479	70,000
保 護 司 活 動	330,000	330,000	賃 貸 料	937,750	940,000
更生保護女性活動	110,000	110,000	水 道 光 熱 費	173,635	160,000
B B S 活 動	210,000	110,000	雑 費	880,015	920,000
協力雇用主会活動	80,000	80,000	予 備 費	0	100,000
機関紙発行費	342,052	360,000	予 備 費	0	100,000
大 会 費	0	300,000	支 出 の 部 合 計	16,010,571	16,500,000

令和5年度事業成績

更生保護事業

(1) 通所・訪問型保護事業 (単位 円)

項目	件数	金額
金品の給与	64件	283,630
就労支援	27件	675,000
恩赦(記念品)	1件	5,000
合計		963,630



(2) 地域連携・助成事業

① 助成事業 (単位 円)

助成先	助成内容	金額
(更)ウィズ広島	施設運営	750,000
(更)呉清明園	施設運営	750,000
(更)ウィズ広島	通所・訪問	150,000
(更)呉清明園	通所・訪問	50,000
保護司会活動	活動費	1,196,233
更生保護女性会活動	活動費	132,500
広島県BBS連盟	活動費	200,000
福山保護協会	活動費	300,000
保護司OB会その他	活動費	1,000,000
合計		4,528,733

② 連絡調整事業 (単位 円)

助成先・助成内容	金額
関係機関・団体協議会	19,000
保護司活動研修会	330,000
更生保護女性会活動研修会	110,000
広島県BBS連盟活動研修会	210,000
広島県協力雇用主会協議会	80,000
中更協・全更連会費	380,000
第34号会報発行	342,052
令和5年度広島県更生保護功労者顕彰式報奨感謝状・記念品	180,000
268,599	
合計	1,919,651

③ 啓発事業他 (単位 円)

項目	金額
第26回チャリティの集い	1,214,761
第73回社明運動	480,000
法務大臣感謝状伝達式並びに更生保護懇談会	298,510
社明啓発事業他	399,818
合計	2,393,089



助成事業支出総計 9,805,103

令和6年度の主な事業計画

- 一、運営に関する事項
- 広島県内に於ける更生保護活動を広く社会に知らしめ、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、更生保護を支えている民間ボランティア、施設団体等に対する通所・訪問型保護事業及び地域連携・助成事業を行うと共に、ご援助を頂ける多くの寄附者並びに会員を募集し、もって更生保護事業の充実発展に寄与する。
- 二、事業に関する事項
- 事業運営を達成するため、「通所・訪問型保護事業」、「地域連携・助成事業」、「その他の事業」を行う。
- ① 更生保護事業法第2条第2項各号に掲げる者(以下「対象者」という)を、更生保護施設その他の適当な施設に通わせ、又は訪問する等の方法により、その者に対し宿泊場所への帰住、教養訓練、医療又は就職を助け、職業を補導し、社会生活に適応させるために必要な生活指導又は特定の犯罪的傾向を改善するための援助を行い、生活環境の改善又は調整を図り、金品を給与し、又は貸与し、生活の相談に応ずる保護を行う。対象者の改善更生に資する援助を行う公共の衛生福祉に
- 一、運営に関する事項
- 広島県内に於ける更生保護活動を広く社会に知らしめ、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、更生保護を支えている民間ボランティア、施設団体等に対する通所・訪問型保護事業及び地域連携・助成事業を行うと共に、ご援助を頂ける多くの寄附者並びに会員を募集し、もって更生保護事業の充実発展に寄与する。
- 二、事業に関する事項
- 事業運営を達成するため、「通所・訪問型保護事業」、「地域連携・助成事業」、「その他の事業」を行う。
- ① 更生保護事業法第2条第2項各号に掲げる者(以下「対象者」という)を、更生保護施設その他の適当な施設に通わせ、又は訪問する等の方法により、その者に対し宿泊場所への帰住、教養訓練、医療又は就職を助け、職業を補導し、社会生活に適応させるために必要な生活指導又は特定の犯罪的傾向を改善するための援助を行い、生活環境の改善又は調整を図り、金品を給与し、又は貸与し、生活の相談に応ずる保護を行う。対象者の改善更生に資する援助を行う公共の衛生福祉に
- ② 対象者の改善更生に資する活動への地域住民の参加・促進を行う。
- ③ 対象者の改善更生に資する活動への地域住民の参加・促進を行う。
- ④ 更生保護事業及び対象者の改善更生を助けることを目的とする事業に従事する者の確保、養成及び研修を行う。
- ⑤ 対象者の改善更生を助けることを目的とする事業に関する啓発、連絡、調整又は助成を行う。
- ア 第74回「社会を明るくする運動」に対して協力・援助をする。
- イ 第27回「更生保護チャリティ」の集いを開催する。
- ⑥ 令和6年度に開催される広島県更生保護大会への参加・協力・援助をする。
- ⑦ 令和6年度に開催される「このまち思いえがお食堂」への参加・協力・援助をする。
- ⑧ 更生保護法人中国地方更生保護協会の運営に対する協力・援助をする。
- ⑨ 機関紙「会報第35号」を発行する。
- ⑩ その他協会の事業目的達成に必要と認められる事業を実施する。



評議員

小川 裕子
(令和6年6月1日就任)

監事

國村 充弘
(令和6年8月1日就任)

理事

倉田 秀孝
(令和6年6月1日就任)

飯井 康裕
(令和6年8月1日就任)

井ノ本 瑞恵
(令和6年8月1日就任)

協会人事

広島県更生保護協会理事・監事・評議員・職員

令和6年8月1日現在
50音順・敬称略

役名	氏 名	職 業 等	役名	氏 名	職 業 等
会 長	高 木 一 之	広島信用金庫 特別顧問	評議員	上野谷 吉 禮	ウエノヤビル(株) 代表取締役
理事長	松 藤 研 介	広島ガス(株) 代表取締役会長	評議員	浮 田 収	(株)むさし 代表取締役
副理事長	林 正 夫	学校法人 修道学園 理事長	評議員	大 谷 博 国	(株)にしき堂 代表取締役社長
副理事長	棕 田 昌 夫	広島電鉄(株) 代表取締役会長	評議員	小 川 裕 子	(株)もみじ銀行 執行役員
副理事長	中 尾 建 三	(株)中尾鉄工所 顧問	評議員	鍛冶山 正 照	西地区保護司会 会長
常務理事	森 本 慶 治	(有)森本製作所 代表取締役・保護司	評議員	角 勝 則	府中地区保護司会 副会長
理 事	赤 羽 克 秀	税理士法人赤羽事務所代表社員・税理士・保護司	評議員	木 村 修 二	尾道地区保護司会 会長
理 事	池 田 仁 志	(株)フレンド商会 代表取締役	評議員	栗 田 賢	広島佐伯地区保護司会 副会長
理 事	井ノ本 瑞 恵	中国電力(株) 地域共創本部 地域総括部長	評議員	栗 原 尚 道	庄原地区保護司会 副会長
理 事	今 井 誠 則	東洋観光グループHD 代表	評議員	小 谷 眞喜子	(株)呉英製作所 監査役
理 事	飯 井 康 裕	広島電鉄(株) 代表取締役社長	評議員	澤 田 英 治	(株)ヒューマックス 代表取締役
理 事	倉 田 秀 孝	福山地区更生保護協会 理事長	評議員	柴 原 健 司	広島ガス(株) 秘書部長
理 事	佐々木 茂 喜	オタフクホールディングス(株) 代表取締役社長	評議員	菅 田 一 郎	安芸地区保護司会 事務局長
理 事	田 中 秀 和	田中電機工業(株) 代表取締役会長	評議員	砂 原 傑	(株)砂原組 代表取締役
理 事	為 廣 尚 武	双葉運輸(株) 代表取締役会長	評議員	田 中 岳 子	田中食品(株) 専務取締役
理 事	筒 井 幹 治	(株)シンコー 代表取締役社長	評議員	豊 島 重 文	元代議士秘書
理 事	中 島 和 雄	広島駅弁当(株) 代表取締役社長	評議員	長 崎 清 忠	(株)スパーク 代表取締役社長
理 事	中 原 好 治	広島県議会議員・保護司	評議員	中 村 義 文	ダイキグループ 代表取締役会長
理 事	中 村 琢 也	(一社)中国地区信用金庫協会 常務理事・保護司	評議員	西 慶 之	大竹地区保護司会 副会長
理 事	中 本 正 彦	(株)大柿産業 取締役会長	評議員	貫 名 賢	大栄電業(株) 取締役会長
理 事	延 川 章 喜	広島県遊技業協同組合 理事長	評議員	波多野 智 之	広島市信用組合 専務理事 リスク監査室長
理 事	前 京 子	東亜興業(株) 代表取締役・保護司	評議員	鼻 岡 房 夫	(株)はなおか 会長
理 事	真 木 徳 美	(株)山貴 取締役会長	評議員	平 石 廣 司	元広島県警察本部 警備部長
理 事	森 信 秀 樹	森信建設(株) 代表取締役	評議員	平 岩 由紀雄	アクト中食(株) 代表取締役社長
監 事	金 本 善 行	金本公認会計士事務所 代表	評議員	平 本 憲 夫	元広島保護観察所統括保護観察官
監 事	國 村 充 弘	(一社)広島県銀行協会 専務理事	評議員	前 川 恒 策	(有)ネクストライ 代表取締役
評議員	赤 澤 満	赤澤満 税理士事務所 代表	評議員	松 田 元	(株)広島東洋カープオーナー・代表取締役社長
評議員	足 利 恵 一	(株)あじかん 取締役会長	評議員	森 山 信 明	安佐北地区保護司会 副会長
評議員	和 泉 眞	(株)和泉材木店 取締役会長	評議員	森 脇 宗 彦	住吉神社 宮司・保護司
評議員	井 町 重 遠	元中地区保護司会 会長	評議員	頼 岡 徳 在	(一社)広島腎臓機構 代表理事
評議員	上 野 充 憲	(学)上野学園 副理事長・保護司	職 員	栢 本 佳 代	事務局員 (常勤)
			職 員	中 西 由 美	事務局員 (定時)

更生保護法人
広島県更生保護協会
会 報 第35号

〈編集発行〉
更生保護法人
広島県更生保護協会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀3番6号
TEL (082) 2 2 1 - 4 5 8 5
FAX (082) 2 2 1 - 4 5 9 2
Eメール hogo@d9.dion.ne.jp

